

# 松江市立鹿島歴史民俗資料館だより

No.47

2026年4月発行

## ■ 土器の地域色

弥生時代後期には各地で地域色豊かな土器を作っており、同じ時期、同じ種類の土器でも形や模様の付け方が少しずつ異なっています。このため、各地域の土器を見分けることができます。

南講武草田遺跡は鹿島町の講武平野の南側に位置し、弥生時代後期から古墳時代初頭の集落、墓地です。1988年から1989年にかけて行われた圃場整備のための発掘調査では大量の土器が出土した中、ほかの地域の特徴をもつ土器がかなりの量含まれていました。多いのが近畿の土器で、吉備(岡山)や朝鮮半島の土器もあります。講武平野の北側の堀部第3遺跡からも近畿の土器のほか、北陸、九州の土器が出土しています。

土器を携えた人々が各地から講武平野へやってきたのでしょう。逆に、山陰の土器が奈良や福岡などから見つかっており、古墳時代前夜の時期は全国的に人の往来が盛んだったようです。

ぜひ、各地の土器を見比べてください。



近畿の土器(前列)と地元の土器(後列)



北部九州の土器



朝鮮半島製の土器



北陸の土器

## ■ 図録販売中です

2025年度特別展「島根半島の考古学」の図録を販売しています。

日本海に大きく張り出した島根半島。日本海沿岸の砂利浜から漕ぎ出した人々はバラスト砂利を棺に敷くことを提唱。葬送船の存在を明らかにする。また、当時の港のすがたを考察する。古く出土していた佐太講武貝塚採集の縄文時代資料を併載。

資料館窓口で、1冊 1100円でお買い求めいただけます。郵送も可能ですので、ご希望の方は資料館にお問い合わせください。



発行 令和8年4月 松江市立鹿島歴史民俗資料館

〒690-0803 松江市鹿島町名分1355-4 TEL/FAX 0852-82-2797

[https://www.city.matsue.lg.jp/kanko\\_bunka\\_sports/rekishi\\_bunkazai/shiryokan/9697.html](https://www.city.matsue.lg.jp/kanko_bunka_sports/rekishi_bunkazai/shiryokan/9697.html)